

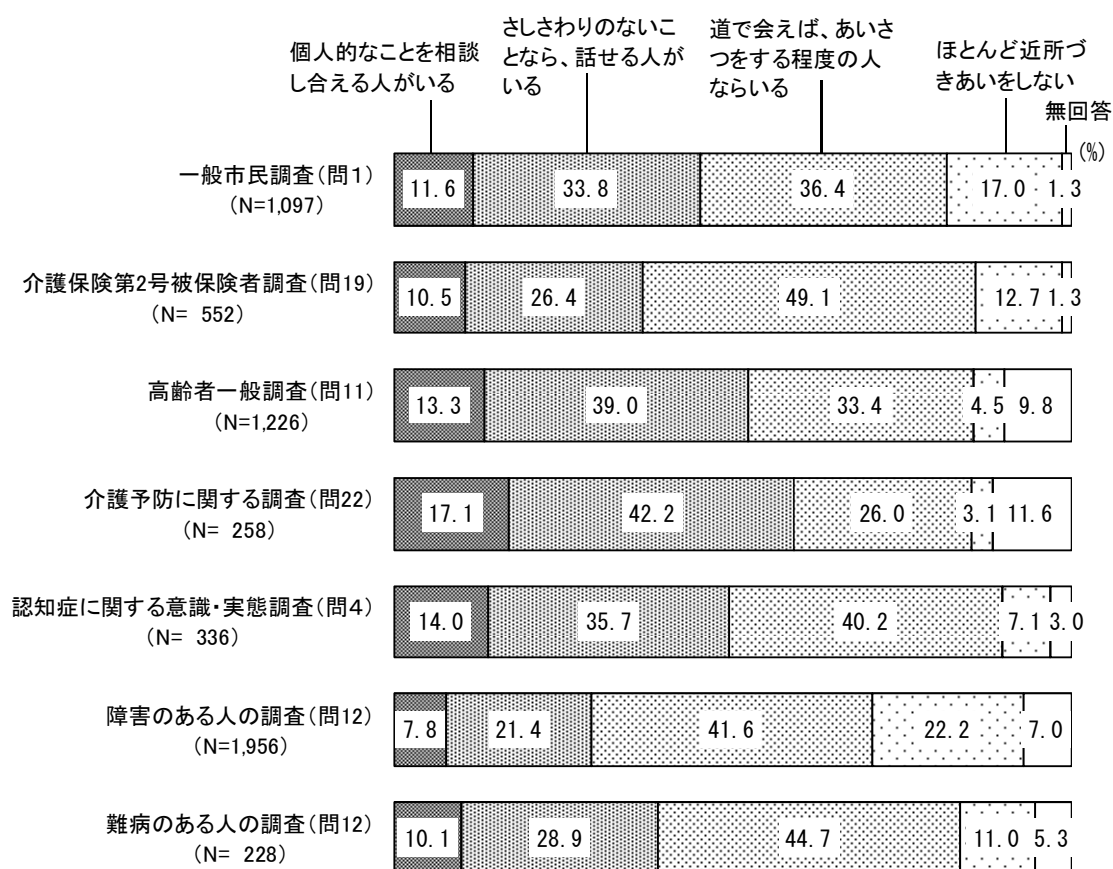
第3章 共通質問

1 近所づきあいの現状

近所づきあいの現状は、一般市民調査（問1）、第2号被保険者調査（問19）、認知症に関する意識・実態調査（問4）、障害のある人の調査（問12）、難病のある人の調査（問12）では、「道で会えば、あいさつをする程度の人ならいる」が最も多い。

高齢者一般調査（問11）、介護予防調査（問22）では、「さしさわりのないことなら、話せる人がいる」が最も多い。（図表3-1-1）

図表3-1-1 近所づきあいの現状（全体）

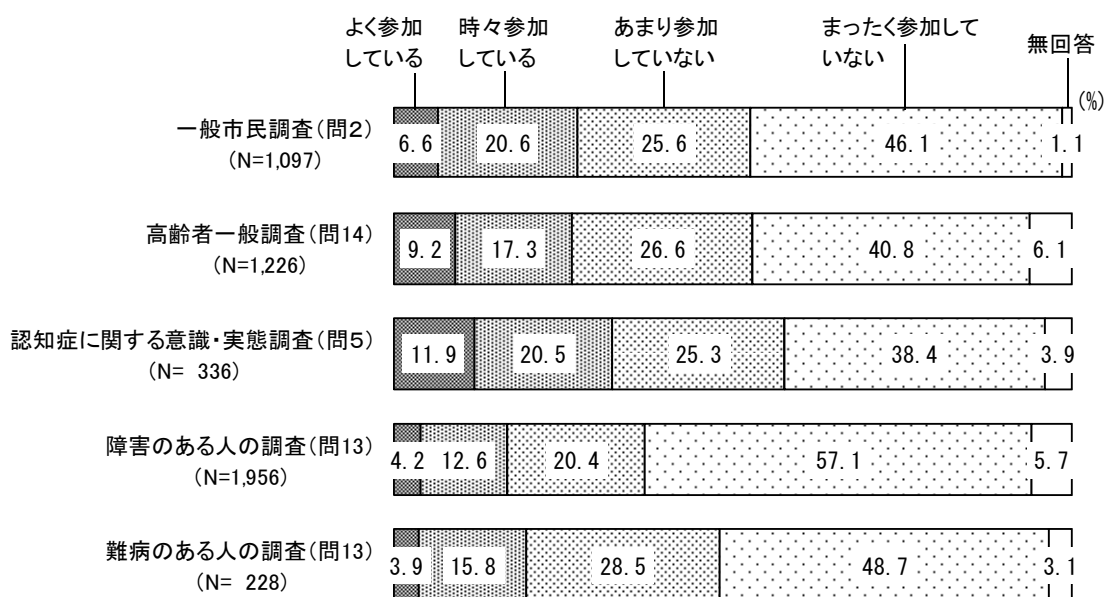


2 地域活動やボランティア活動の参加程度

地域活動やボランティア活動の参加程度は、いずれの調査でも「まったく参加していない」が最も多い。

認知症に関する意識・実態調査（問5）では、「よく参加している」と「参加している」を合わせた《参加している》が32.4%で、他と比べて参加率が高い。（図表3-2-1）

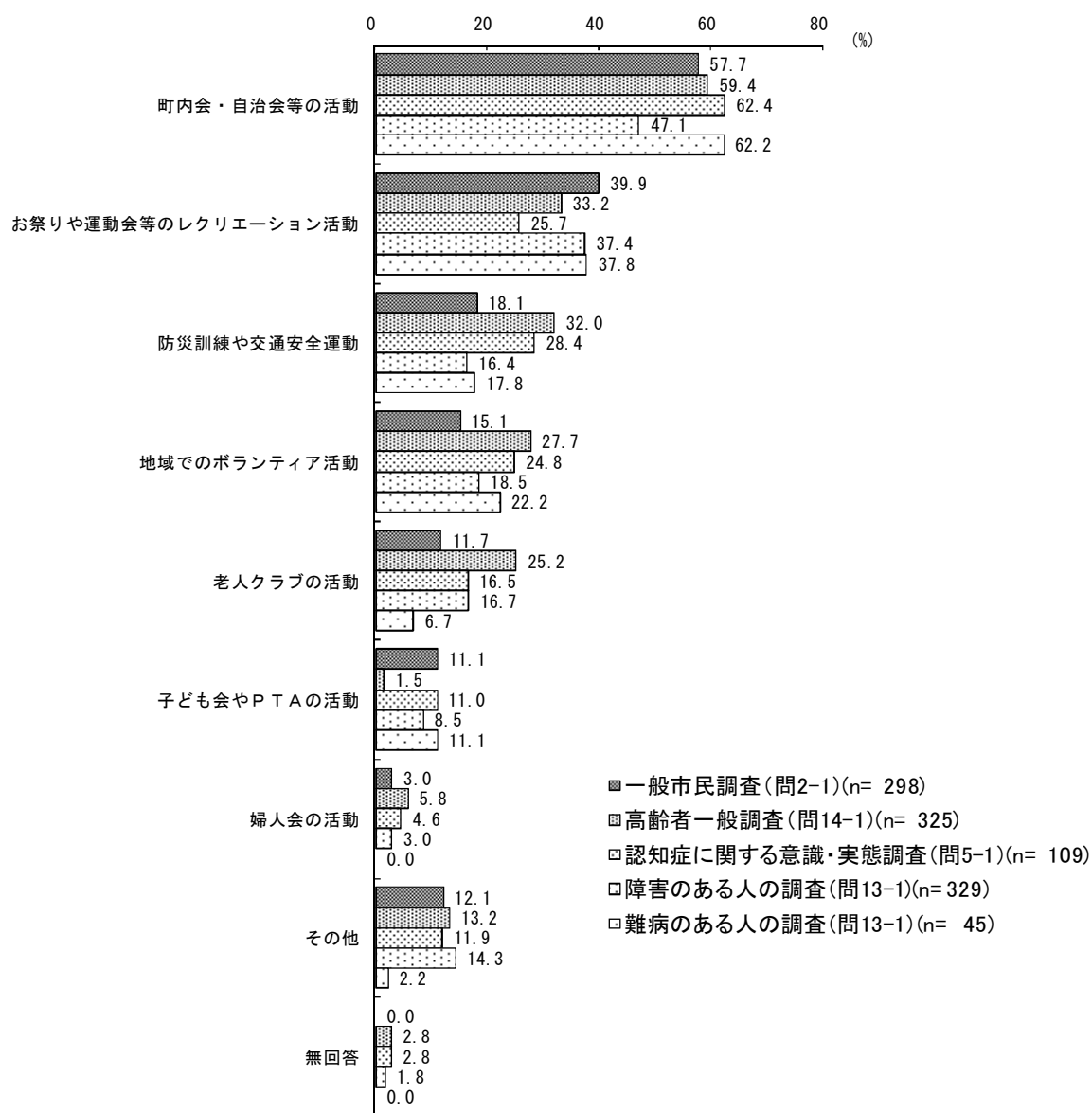
図表3-2-1 地域活動やボランティア活動の参加程度（全体）



3 参加している活動の種類

参加している活動の種類は、いずれの調査も、「町内会・自治会等の活動」が最も多くなっている。認知症に関する意識・実態調査（問5-1）では「防災訓練や交通安全運動」が第2位となっており、それ以外の調査では「お祭りや運動会等のレクリエーション活動」が第2位となっている。（図表3-3-1）

図表3-3-1 参加している活動の種類（全体：複数回答）



4 災害時に協働ですすめる地域の支え合い

災害時に協働ですすめる地域の支え合いは、いずれの調査でも「地域住民同士の声かけや安否確認」が最も多い。担い手調査では「地域ぐるみの実践的な防災訓練の充実」と「住民たちで行う防災組織の活動の充実」、その他の調査では「地域独自の防災マニュアルや防災マップの作成」と「商店や会社による場の提供や備蓄品の提供等」が上位を占めている。(図表3-4-1)

図表3-4-1 災害時に協働ですすめる地域の支え合い（全体：複数回答）

	第1位	第2位	第3位
一般市民調査（問13） (N=1,097)	地域住民同士の声かけや安否確認 (60.8%)	地域独自の防災マニュアルや防災マップの作成 (48.9%)	商店や会社による場の提供や備蓄品の提供等 (46.3%)
担い手調査（問22） (N= 467)	地域住民同士の声かけや安否確認 (81.2%)	地域ぐるみの実践的な防災訓練の充実 (59.7%)	住民たちで行う防災組織の活動の充実 (47.8%)
介護保険第2号被保険者調査（問23） (N= 552)	地域住民同士の声かけや安否確認 (63.0%)	商店や会社による場の提供や備蓄品の提供等 (52.2%)	地域独自の防災マニュアルや防災マップの作成 (46.4%)
高齢者一般調査（問23） (N=1,226)	地域住民同士の声かけや安否確認 (68.9%)	地域独自の防災マニュアルや防災マップの作成 (40.0%)	商店や会社による場の提供や備蓄品の提供等 (33.6%)
介護保険居宅サービス利用者調査（問28） (N= 942)	地域住民同士の声かけや安否確認 (60.0%)	地域独自の防災マニュアルや防災マップの作成 (32.3%)	商店や会社による場の提供や備蓄品の提供等 (30.7%)
介護保険サービス未利用者調査（問17） (N= 338)	地域住民同士の声かけや安否確認 (65.7%)	商店や会社による場の提供や備蓄品の提供等 (32.2%)	地域独自の防災マニュアルや防災マップの作成 (27.8%)
障害のある人の調査（問18） (N=1,956)	地域住民同士の声かけや安否確認 (57.5%)	地域独自の防災マニュアルや防災マップの作成 (33.8%)	商店や会社による場の提供や備蓄品の提供等 (32.3%)
難病のある人の調査（問17） (N= 228)	地域住民同士の声かけや安否確認 (58.3%)	地域独自の防災マニュアルや防災マップの作成 (47.8%)	商店や会社による場の提供や備蓄品の提供等 (42.5%)